

東院庭園 よみがえる古代の宴

2012年5月3日から6日の連休4日間に『東院庭園 よみがえる古代の宴』をおこないました。具体的には、奈良文化財研究所平城宮跡資料館の改装にあたって新たに製作した調度品等の一部を東院庭園に持ち込み中央建物の東側に当時の宴の場を復元し、そこに高位の貴族と女官を配して宴の様子を再現しました。また、庭園内では衣装を着た女官たちがそぞろ歩き、お客様の記念撮影のモデルとなる等、天平時代かくばかり、と思わせるようなひとときが現出されました。

さらに飛鳥地区で活躍する劇団「時空」による大伴家持を主人公にした演劇や「ミューズクラスターカンパニー」による万葉集を題材にした朗詠や踊りが披露されました。

ご来園のお客様にはおおむね好評を持って迎えられたと自負してはいますが、衣装を着て座っている、歩いているというだけでは、お客様への訴求効果がやや足りなかった面は認めなければいけないと思います。今年の秋以降、さらに継続していくには、衣装を着ているというだけではない、何らかのイベント性も盛り込んでいく必要があるように感じました。

本イベントの開催にあたりましては、上記劇団「時空」の皆さん・「ミューズクラスターカンパニー」の皆さんに多大なご協力をいただくとともに、衣装を着用していただいた所員を含むボランティアの方々に篤くお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

(都城発掘調査部 杉山 洋)



再現された古代の宴の様子